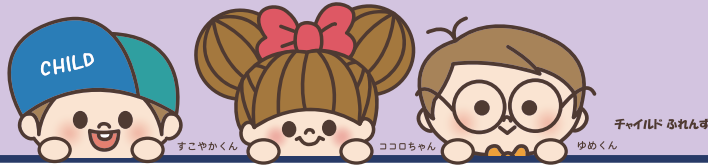


# 選ばれる園になるためのメルマガ

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



## 『不適切保育』への対応について

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。チャイルドグループの各事業部のノウハウを Q&A 形式でお届けします。

**Q** 保育施設における不適切保育への対策案をお教えてください。

保育施設における不適切保育に関する報道が相次いでいます。当園では、そういったことが起こらないように日ごろから注意していますが、万全に取り組んでいるのかどうか不安です。



**A** 不適切保育の正しい理解とマニュアル化や保育の可視化が有用です。

不適切保育が起ってしまう一つの要因に、『当事者間の認識の違い』が挙げられます。自治体・保護者・保育施設の管理者・保育者の「不適切保育」に対する理解が違うことにより、事態や混乱が発生するケースが多いです。

共通の理解・ガイドラインやチェックリストを導入することによって事態の発生や疑いを未然に防ぐことができると考えます。

こども家庭庁からも令和5年5月に『保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン』が発表されております。ガイドラインが示す、何が「不適切な保育」か、「こどもの人権擁護の観点から望ましくないと考えられるかわり」とは何かを理解することが重要です。

また園内に見守りカメラを導入することが役に立ちます。事後検証に役立ち、再発を抑制できるため、設備導入補助金を交付する自治体も出てきております。見守りカメラ導入による保育の可視化は不適切保育問題だけでなく、園での園児のケガやトラブルへの対応をする際にも園を守ることが多いでしょう。

チャイルド社グループでも不適切保育防止への取組みをサポートするための様々なご提案をさせて戴いております。ぜひ営業担当者へお尋ねください。

チェックリストがあると判りやすい!



### 事業部紹介

株式会社チャイルド社 コンピュータ部

全国20の営業所を拠点に、園のパソコン・インターネット環境の整備、業務管理ソフトやICT化の導入・サポートを行っています。

【営業所】札幌、盛岡、仙台、水戸、さいたま、東京、京葉、神奈川、北関東、新潟、金沢、中部、関西、京都、広島、四国、九州、中九州、南九州、沖縄

